

# フェーン・異常高温緊急情報(第1号)

令和5年8月8日  
新潟県農林水産部

**8月9日から11日にかけて、台風6号による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。  
イネを高温障害から守るため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。**

## 【気象の見込み】

- ◎ 新潟地方気象台が8月7日14時30分に発表した「2週間気温予報」では、10～11日の最高気温は37～38℃、最低気温は28～29℃と予想され、10日の最低気温は30℃を超える恐れがあります。
- ◎ まとまった降水がしばらく期待できない状況であり、台風の進路によっては、9～11日にかけてフェーン現象による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

## 【当面の管理対策】

- ◎ コシヒカリは、出穂後の高温に対する感受性が最も高い時期、新之助は出穂盛期となっており、最も水を必要とする時期を迎えます。
- ◎ 土壌表面に水がない状態でフェーン等の異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。
- ◎ 地域の用水の供給状況を確認して、地域全体に用水が行き渡るよう、異常高温が発生する前から、かん水を始めてください。こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めてください。湛水深は可能であれば2～3cmとします。ただし、長期間の湛水は根の機能低下を招くので避けましょう。
- ◎ 早生品種は登熟初期に高温に遭遇しており、胴割粒の発生リスクが高い状態です。刈遅れによる品質低下を防ぐため、地域の技術情報を参考に、適期収穫に努めてください。

**農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。**

水稻共済加入者の皆様へ

新潟県農業共済組合

## 登熟不良の発生と損害評価

水稻は、出穂期以降20日間程度の気温が高温等で推移すると、外見上判断できない白未熟粒等が発生する可能性が高くなります。

現在加入されている半相殺、全相殺方式または地域インデックス方式は収量補償であるため、品質または等級の低下では、通常、共済金の支払い対象となりません。

しかし、当組合管内で白未熟粒等が広範囲に発生し、規格外米が相当割合発生した場合は、当組合の申請及び国の認定により、特例的に白未熟粒等の発生量を共済減収量に加味して、損害評価（特例措置）を実施できる場合があります。

## 被害申告される場合の注意点

玄米の状況などを確認いただき、登熟不良などの高温障害により、白未熟粒等が半分程度以上発生している場合は、収穫される前に被害申告を行ってください。

なお、被害申告の方法は、送付された「水稻損害評価のお知らせ」をご確認ください。

## 共済金支払対象にならない場合があります

白未熟粒等の被害申告をいただいても、今後の生育・被害状況等により特例措置が実施されない場合や、特例措置が実施されても一定の割合を超える減収とならない場合は、共済金の支払対象となりませんので、あらかじめご了承ください。

【お問合せ先】 お近くのNOSA Iまでご連絡ください。